

令和3年 第109回多可町議会定例会 一般質問

(1日目) 12月20日(月) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
1	大山由郎	生涯活躍につながるまちをめざせ	町長
2	門脇教蔵	人口減少問題の現状と今後の対策	町長
3	藤本一昭	学校給食の無償化の実施を求める	町長
		防犯灯の設置要綱に「特に町長が認めるもの」の規定の追加を求め、カーブミラーの管理規定の制定を求める	町長
		公共交通の内、高齢者の福祉タクシー券を含めての総合的運賃割引制度の検討が必要ではないか	町長
4	橋尾哲夫	多可町の知名度アップについて	町長
		道の駅山田錦発祥のまちを新たに建設してはどうか	町長
		町施設の備品管理の徹底について	町長
5	廣畑幸子	中学生のバス通学の見直しを	町長・教育長
		「日本酒の日コンサート」今後どのように考えるのか	町長
6	内橋志郎	前期基本計画の達成度や取組状況と後期基本計画について	町長
		(仮称)多可町生涯学習センター建設について	町長
7	藤原清勝	公共交通薄弱地帯での、住民の移動の自由を確保することについて	町長

(2日目) 12月21日(火) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
8	清水俊博	吉田町政「二期目」への決意・所信を問う	町長
		「ハッカーから住民の命(情報)」を守れ	町長
		「空き家」を適切に措置し、貴重な地域資源等として更なる利活用を	町長
9	門脇保文	町長所信表明について	町長
10	市位裕文	中学生の通学路対策	教育長
		中学生の制服	教育長
11	足立吉継	高校生通学路の街路灯の設置を	町長・教育長
		結婚応援事業の現状について	町長
12	吉田政義	通学路の安全は守られているのか	教育長
13	日原茂樹	ウッドショックの今こそ、町産材の活用を	町長
		厳しさを教える教育	教育長

一般質問通告書

【第109回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 大山 由郎

受 領 日	番号
令和 3年11月30日	1
午前 午後 8時30分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1.生涯活躍につながるまちをめざせ	町長
別紙にて	
2.	
3.	

質 問 の 内 容

我が国は世界に例のない少子高齢化の只中にあり、高齢者 1 人に対し現役世代人口が 2 人という社会が現実化している。このような状況から、高齢者にとって一方的に社会から支えられるのではなく、支える役割を担うことも期待される。高齢者が地域でいきいきと活躍し、多彩なライフスタイルが実現できる環境づくりや地域づくりを進めていくことが重要だ。

1. 「誰の助けを借りることなく、健康的に日常生活を送れる年齢」である健康寿命を延ばすことは、我が町にとって喫緊の課題だ。その対策は。
2. 高齢者の「力」を高めるエンパワーメントにつながる ICT 利活用支援と、社会参加を促進する取り組みは。
3. 新しいまちづくりや地域づくりで地域活性化などの効果が期待できる、生涯活躍につながるまちをめざすべきだ。

一般質問通告書

【第 109 回定例】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 門脇教蔵

受 領 日	番号
令和 3 年 1 1 月 3 0 日	2
午前 午後 8 時 3 0 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
人口減少問題の現状と今後の対策	町 長

2005 年(平成 17 年)11 月、多可郡の中町・加美町・八千代町の 3 町が合併し多可町が誕生いたしました。それ以前の 3 町を合わせて人口は、合併前 1985 年(昭和 60 年)の 26,586 人をピークに、毎年 50 から 100 人程度のゆるやかな減少傾向が続いていました。しかし、2005 年合併以降、人口減少が急速に進み、2010 年には 23,346 人、2015 年には 22,091 人と 10 年間で約 3,000 人、年間約 300 人のペースで減少し、その後、今日までの 5 年間で 1,100 人、合併後 15 年で 5,300 人の人口減少となっています。

この人口減少は、依然としてブレーキがかかる気配はありません。

第 2 期多可町総合戦略令和 2 年度～6 年度の計画によりますと、2015 年、国勢調査結果までを踏まえた国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計(2018 年)に準拠した推計によりますと、多可町の将来人口は、2020 年 19,444 人・2040 年 12,652 人・2060 年には、6,969 人になることが見込まれています。

この結果を見れば、人口減少対策は、待ったなしの喫緊の課題であります。人口減少は、地域経済に与える影響はもちろんのこと、活力衰退の空気感を生み出しかねません。今、第 2 期多可町総合戦略令和 2 年から 6 年度「まち・ひと・しごと創生」の計画の基、現在取り組まれているところですが、そこで以下のご質問をいたします。

「まち・ひと・しごと創生法」が目指す人口減少の克服と地方創生を合わせて行うことが、わが町の活力を取り戻すこと、活力を維持することという目標を踏まえ、町長の「人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の策定についてどのような体制で取り組みをされてこられたのか。どのような考え方をもっておられるのか、お伺いします。

一般質問通告書

【第109回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 藤本 一昭

受 領 日	番号
令和 3年12月 2日	3
午前・午後11時22分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 学校給食の無償化の実施を求める	町長
<p>多可町の少子化が急速に進行している中であり、小中学校の児童生徒の学校給食費無償化を推進することにより、現役世代の保護者への経済的支援負担軽減を実現できますので、早期の給食費無償化をもとめます。</p> <p>あわせて同時に、多可町産の食品及び食材の地産地消の数値目標を定めての取り組みを求め町長の答弁を求めます。</p>	
2. 防犯灯の設置要綱に「特に町長が認めるもの」の規定の追加を求め、カーブミラーの管理規定の制定を求める	町長
<p>集落要望で、毎年総務課に要望がなされています。その要望の多数がなされているのが、防犯灯設置やカーブミラーの設置です。しかし、本来これらの設置は、多可町が住民の防犯及び交通安全の観点から計画的に設置されるものがあります。この際これら設置を定める防犯灯の設置要項に「特に町長が認めるもの」とする規定を追加して、5年毎の見直しの規定も定めて、安全で安心な多可町の環境推進をすべきであると考えます。そして、カーブミラーの管理規定及び設置の要綱が必要と考えますが町長の答弁を求めます。</p>	
3. 公共交通の内、高齢者の福祉タクシー券を含めての総合的運賃割引制度の検討が必要ではないか	町長
<p>昨今の高齢ドライバーの運転免許証の返還が進んでいますが、高齢者の移動手段としてのタクシー利用が求められています。当町では、高齢者に福祉タクシー券を購入頂いていますが、交付後すぐに使ってしまう、それ以降は全額を支払いしている状況です。今後の展開として、高齢者のタクシー運賃割引助成制度が選択肢の一つと考えます。今後の利用拡大を調査検討すべきであると考えますが、町長の見解を求めます。</p>	

質 問 の 内 容

1, 学校給食の無償化の実施を求める

多可町の少子化が急速に進行している中であり、小中学校の児童生徒の学校給食費無償化を推進することにより、現役世代の保護者への経済的支援及び負担軽減を実現できますので、早期の給食費無償化を求めます。

そこで、現在の給食費は、月小学生4,200円 中学生4,500円を保護者にご負担をいただいています。一食あたり小学生240円、中学生270円と報告を受けております。この給食費は、具体的に申しますと食材及び製品の調達代金であります。この費用を公費負担で無償化をすべきであります。

給食の施設経費として、職員及び委託業者への費用があります。その経費は、令和2年では、1億2927万円あまりであります。

単価は1食417円となり、全体の1食は673円となります。このような状況でありますので、私は是非とも食材部分の給食費を公費負担で多可町の児童生徒の教育の環境整備のためにも、保護者の経済的支援が重要であります。

同時に、多可町産の食品及び食材の地産地消の数値目標を定めて、食材等の取り組みも重要と考えますが町長の答弁を求めます。

2, 防犯灯の設置要項に「特に町長が認めるもの」の規定の追加を求め、カーブミラーの管理規定の制定を求める

集落要望は、毎年総務課に要望がなされています。その要望も多数であります。中でも特に防犯灯設置やカーブミラーの設置の要望です。しかし本来、これらの設置は、多可町が住民の防犯及び交通安全の観点から自主性を持って計画的に設置されるものであります。

この際、これら設置を定める防犯灯の設置要項に「特に町長が認めるもの」とする規定を追加して、5年毎の見直しの規定も定めて、安全で安心な多可町の環境推進をすべきであると考えます。

具体的には「多可町街路灯・防犯灯設置要綱」の第2条中の第2種事業の主な設置場所に対して「国道、県道、都市計画道路、1・2級町道及び公共施設周辺その他防犯上必要な箇所又は、特に町長が認めるもの」として柔軟に対処できるようにすべきであります。その上5年毎の設置状況の具体的見直しの規定を定めて、安全で安心な多可町の環境推進をすべきであると考えますが町長の答弁を求めます。

その上既設の防犯灯の維持管理ですが、木の枝や葉っぱが生い茂って役に立

っていない箇所も相当数ありますが今後の管理についてもお聞きします。

そして、次にカーブミラーについてですが、多可町にはカーブミラーの維持管理規定及び設置の要綱が未整備であります。

交通事故の抑止に効果が期待されていますが、なぜ要綱等を整備していないのか、説明を求め制定すべきであると考えます。その上で、これまでの無計画なカーブミラーの管理を今後どのようにしていくのか説明と今後の対処方針についての町長の答弁を求めます。

3、公共交通の内、高齢者の福祉タクシー券を含めての総合的料金割引制度の検討が必要ではないか。

昨今の高齢ドライバーの運転する痛ましい交通事故が発生してから、運転免許証の返還が進んでいます。今後は、高齢者の移動手段としてのタクシー利用が求められています。当町では、高齢者に対しまして福祉タクシー券交付事業を利用いただいています。実際に4月に交付を受けて2、3ヶ月利用して全部使ってから、当然ながら全額を支払っているのが実情であります。

今後の高齢者の移動手段としてのタクシー運賃割引制度を展開して、高齢者のタクシー運賃割引助成制度が、行政としてのサービスの一つと考えます。

多可町は、今後の利用拡大も念頭にして、調査検討すべきであると考えますが、町長の見解を求めます。

一般質問通告書

【第 109 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 橋尾 哲夫

受 領 日	番号
令和 3 年 1 2 月 2 日 午前・午後 1 2 時 2 分	4

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 多可町の知名度アップについて	町長
<p>各担当課は地方創生として色々な施策を計画しています。人物から多可町の知名度アップしてはどうか。</p> <p>3 賢人とは門脇政夫（敬老の日制定者）八千代区出身、山田勢三郎（山田錦）中区出身、山口茂吉（歌人）加美区出身です。3 名の生誕日を動画アニメで町ホームページに情報発信して多可町を PR してはどうか。動画アニメはプロに依頼すべきです。NHK の大河ドラマでは歴史上の人物、麒麟がくるでは明智光秀、青天を衝けは渋沢栄一です。NHK で取り上げられればすぐに全国版で知名度もアップします。</p> <p>3 名を毎年生誕日に 1 カ月間動画アニメで発信し多可町の魅力と歴史を P R すれば 1 度訪れたい人がでてきます。町長の答弁を求めます。</p>	
2. 道の駅山田錦発祥のまちを新たに建設してはどうか	町長
<p>道の駅は、当初の名称は町の駅でした。国土交通省により登録され道の駅に変更されました。平成 2 4 年 1 2 月 6 日オープンです。</p> <p>他市の道の駅、西脇の旬菜館、J A 兵庫六甲野菜館では店舗の売り場面積と駐車場面積は多可町の道の駅の 1 0 倍以上の広さがあります。JA 兵庫では、平日でも 9 時開店で 3 0 分前から約 2 0 0 人が行列し待っています。神戸へ行く時は、時間があれば新鮮で安価な野菜等を購入します。多可町の道の駅も来店者は増加していましたが、コロナ禍で客足が減少しています。</p> <p>4 年後は町制 2 0 周年です。その記念として道の駅を国道 4 2 7 号線の新たな場所に過疎債を活用して建設してはどうか。今後の 2 0 年後の多可町の将来を見据えることです。主な特産品は山田錦の日本酒、コシヒカリ、播州織等多くの特産品があります。農業振興観光交流施設としてより多くの観光客を呼び込み、多くのリピータが訪れる施設にすることです。町長の答弁を求めます。</p>	

3. 町施設の備品管理の徹底について

町長

去る10月26日（火）、多可町老人クラブ連合会八千代支部は八千代グラウンドで支部グラウンド大会を開催しました。

選手として参加されていた方が、バックネット裏で休憩中に座っていたベンチの脚が折れて怪我をされたそうです。

備品の管理を十分にされているのか疑問です。

これを教訓として、町民が安全安心に使用していただくためにも、町の全備品（椅子、机、ベンチ等）管理の徹底を各施設に指示し、再発防止に努めることです。

町長の答弁を求めます。

一般質問通告書

【第109回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 廣畑 幸子

受 領 日	番号
令和 3年12月 8日 午前・ <u>午後</u> 3時41分	5

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 中学生のバス通学の見直しを	町長・教育長
2. 「日本酒の日コンサート」今後どのように考えるのか	町長
3.	

質 問 の 内 容

1. 中学生のバス通学の見直しについてお聞きします。

9月に通学路の安全確保の一般質問をしました。その中で八千代中学校の生徒の通学現状をお話ししました。遠い生徒では10キロメートルを超える距離を自転車通学しています。そんなに遠い距離ならバス通学でも良いのではと思いましたが、現在生徒たちは遠くてもバス通学ではなく基本自転車通学をしています。

なぜ自転車通学ばかりなのでしょう。

「以前から自転車通学をしていますから。」と言われれば「そうですか。」で終わってしまいます。

平成28年ですが、八千代小学校が統合した当時、通学制度を検討した時期があったと前回お聞きしました。その時はまだ小学校も徒歩通学でしたので、従来どおり自転車通学の補助制度を使うこととしたとのことでした。

しかし、それから5年以上経過しています。八千代小学校の児童のバス通学も増えました。通学の危険性にもいろいろありますが、以前にはあまり考えなくても良かった生徒数の減少から想定される防犯面でも心配なことがあるのではないのでしょうか。

もちろん毎日自転車で通学をするということは、体も鍛えられるでしょう。長い距離の生徒は、根性も鍛えられるかもしれません。

しかし、防犯面などで心配と思われることがあるのであれば少しでも減らすことは必要なことではないのでしょうか。

また、現在加美区清水の中学3年生は2年生までバス通学であったものが、自転車通学です。3年生も引き続きバス通学にはできないのでしょうか。

一度中学生たちのバス通学を検討する時期に来ていると思います。けれど、どうしても自転車通学をしたいという生徒があれば、アシスト自転車での対応を考えるのも一つかもしれません。

いかがでしょうか。

2. 「日本酒の日コンサート」を今後どうするのかをお聞きします。

令和3年10月3日に、「加藤登紀子日本酒の日コンサート～ファイナル～」が開催されました。観客の皆様に惜しまれながらのファイナルコンサートでした。

このコンサートですが、最初は平成2年7月に開館したベルディーホールに、加藤登紀子さんの全国ツアーの一つとして組み込まれ平成4年3月18日に開催されました。そして日本酒と言えば加藤登紀子さんということ、「山田勢三郎さん生誕150周年」が次の年ということもあり、平成5年10月1日に第1回目の「日本酒の日コンサート」が開催されました。

長きに渡り開催されてきましたので、今年のコンサートは28回目にもなりました。

しかし、先ほども申しましたとおり、加藤登紀子さんに来ていただくのは今年が最後です。けれど「山田錦発祥の地多可町」です。山田錦の栽培も盛んに行われています。「日本酒の日」は大事にしなければなりません。

今までの「日本酒の日コンサート」の今後をどう考えていますか。今までコンサートに変わる何かを考えているのでしょうか。

一般質問通告書

【第 109 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 内橋 志郎

受 領 日	番号
令和 3 年 1 2 月 9 日	6
午前・ <u>午後</u> 4 時 3 6 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
前期基本計画の達成度や取組状況と後期基本計画について	町長
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期基本計画の基本施策の達成度や取組状況はいかがなものか？ ・ 後期基本計画に臨まれる基本的な考え方や町長の思いはかにかに？ 	
(仮称) 多可町生涯学習センター建設について	町長
<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設についてどのように民意を把握し、どのように分析されているのか？ ・ 建設計画を住民皆さんにどのように広く説明していく予定なのか？ ・ 財政的なリスクは本当に無いのか？ ・ 生涯学習センターを建設することが本当に優先事項なのか？ ・ 図書館の利用状況や多可町民のプラザの利用はどのようなものか？ ・ 住民皆さんに利用されるよう、どのような工夫で進めていこうとお考えなのか？ 	
3.	
(Blank area for additional questions and answers)	

質 問 の 内 容

平成29年3月に10年間のまちづくりの施策を網羅し、羅針盤としての役割を担う第2次多可町総合計画が策定されました。その基本理念は『天たかく元気ひろがる美しいまち多可』であります。

総合計画は、将来、10年後を目標として、多可町をどのようにしていくのか、どういったまちになっているのかを具体的にまとめたものです。住民の希望や良いアイデアがたくさん書かれ、住民皆さんがその実現を望まれています。すべての計画の最上位計画であります。

町長も計画をもとに一步一步理想とすべき町に近づけたいと、日々町政運営に真摯に取り組まれておられます。

本年度中には、前期基本計画の取組状況や社会経済情勢の変化を踏まえ、取り組む施策と実施計画が見直され、令和4年度からの5年間の「後期基本計画」が策定されます。

そこでお尋ねいたします。

平成29年度から令和3年度迄の5年間、前期基本計画中の基本施策の達成度や取組状況はいかがでしょう？

そして、令和4年度からの後期基本計画に臨まれる基本的な考え方や町長の思いをお聞かせ願いたい。

(仮称)生涯学習センター建設に向け、公共団体や子育て世代の代表者でつくる検討委員会から12月2日付で答申が出されました。

町は、現状において、図書館を中核機能としてもつ生涯学習センターの建設についてどのように民意を把握され、どのように分析されていますか？

また、今後、業者委託されて作成される建設基本計画を住民皆さんに、どのように広く説明していく予定でしょうか？

なお、2009年2月号で公表された際の、図書館は6.3億円でしたが、現段階で約13.5億円と伺っていますが、金額が増加した理由と増加したことによる財政的リスク(これまでの施設の更新、ごみ処理施設や中学校統合などで、大型投資事業もあって)は本当に無いのでしょうか？

更に、財政リスクをクリアすることを前提条件にしつつも、多可町が生涯学習センターを建設することが本当にいま優先事項なのかどうか、改めてお聞かせいただきたい。

吉田町政2期目の所信表明でも明言されましたが、アフターコロナの社会を見据え、『生涯学び続けられるまち』の実現を目指し、このような時代だからこそ、果敢に投資していくという姿勢で、生涯学習センター建設を進められようと受け止めています。そもそも現状において、図書館の利用状況やプラザの利用はどのようなもののでしょうか。図書館については、図書カード登録者数ではなく、実際に利用している状況や住民の属性について、プラザもどのような状況でしょうか？

そして、これらの現状から、この度の生涯学習センターが、お住いの場所に関わらず、広く住民皆さんに利用されるよう、どのような工夫を進めていこうとお考えでしょうか？

一般質問通告書

【第109回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 藤原 清勝

受 領 日	番 号
令和 3年12月 9日 午前 <u>午後</u> 5時12分	7

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 公共交通薄弱地帯での、住民の移動の自由を確保することについて	町長
多可町の中心といえる中区あたりだけが便利になるのではなく、多可町内全ての方が、平等に、便利に、自由に移動できる手段が必要ではないでしょうか。	
2.	
3.	

質 問 の 内 容

私は、この度の選挙中、高齢者の方々から「投票日に投票に行けるかなあ。」という不安の声をたびたびお聞きしました。その方々は、自動車運転免許証を返納されたり、体が不自由で障がいがあったり、介護認定を受けておられたり、一人暮らしで手助けがなかったりと様々な高齢者の方々だと思います。

そして今、多可町はこのように交通弱者が増え、買い物、病院への通院などの問題となり、いわゆる交通薄弱地帯になっています。そして、この状況が改善されなければ、一人暮らしで、もう直ぐ68才になるこの私も、十年後には、この状況の中で困難に陥ることは、確実なことだといえます。尚、今までの先輩各議員方の議事録を読ませていただくと、何人もの方が同じような質問をされ、危機感を持って危惧されています。しかも、現行の福祉タクシー券利用助成事業の制度では、利用者のそれぞれの居住地による大きな格差が避けられません。これは、この制度の根本的欠陥だと言わざる負えません。

さてそこで、以前にも先輩議員が提案している、多可町内どこからでも、どこへでも自由に移動できるワンコインタクシー制度が最善の手段だと考えます。この度の吉田町長の所信表明にあります「持続可能な発展を実現する未来都市」のように、「地域のあらゆる主体が連携して、誰一人取り残すことなく多様性と包摂性のある社会を実現する」ためにも、再度、町長の考えを答弁ください。

一般質問通告書

【第 109 回定例会】

多可町議会議長 笹倉政芳 様
 多可町議会議員 清水俊博

受 領 日	番号
令和 3 年 1 2 月 1 0 日 午前 午後 8 時 3 0 分	8

質 問 の 項 目 及 び 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
<p>1. 吉田町政「二期目」への決意・所信を問う！</p> <p>「住みたい町・住み続けたい町」創生に向け、大きく4つのチャレンジを掲げられている。①子育てするならダントツ多可町から④生涯学び続けられる生きがい溢れるまちづくりまで二期目への想いを力強く表明されています。 その所信において基本となる項目の一つについて以下伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域産業の育成と積極的企業誘致」への取り組み、その具体・詳細は ①若者等の働く場の創生 工業団地等の確保策 ②企業と自治体 マッチングをどう図るのか横並びでない戦略は ③企業及び起業しやすい環境&受け皿 (Wi-Fi、5G) ベースの情報環境作りは どのように考えられているのか 	町 長
<p>2. 「ハッカーから住民の命（情報）」を守れ！</p> <p>本年 10 月末、徳島県つるぎ町にある町立半田病院のプリンターから出てきた不審なメッセージ。システム管理者が調べたところ、サーバーが「ランサムウェア」と呼ばれる身代金要求型ウイルスに感染し、電子カルテが閲覧不能となった又、医療関係や会計システムがダウンし患者情報が無い中、医師・職員は今なお、手作業での治療・診察・運営にあたり新規の患者受け入れが停止する事態に陥っています。 以下伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ハッカーからの防止策は如何に本庁、地域局、出張所等の備えは万全か ② 直営診療所等の IP 技術者不在場所の対応策は ③ 対応策等マニュアル等の作成配備は如何に 	町 長
<p>3. 「空き家」を適切に措置し、貴重な地域資源等として更なる利活用を！</p> <p>少子高齢化、若年層等の都市への流出又、世帯構成の変化等により空家が増加しています。十分に利用できるにもかかわらず流通していない物件、更には放置等により管理不十分な物件も約 600 戸に上り、今後更に進む恐れがあります。ポストコロナ働き方の多様化や地方回帰の流れを捉え、これらの空家を移住定住及びワーケーションや二地域居住による交流の促進の受け皿として有効活用していくことも重要です。以下伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 空き家の最新の状況は(総件数、良質物件、特定物件、それ以外等) ② 腐朽損傷がない空き家（良好な地域資源）の更なる対処方法は ③ 特定空き家になる恐れのある物件（撤去解体等が不明）への対応方法は如何に 	町 長

質 問 の 内 容

① . 吉田町政「二期目」への決意・所信を問う！

令和3年12月7日第109回多可町議会定例会にて町政2期目を担うにあたり所信表明・「住みたい町・住み続けたい町」創生の為、町政の基調として、大きく4つのチャレンジを掲げられました。

・子育てするならダントツ多可町②より一層の行政サービスの向上③地域産業の育成と積極的企業誘致、最後に④生涯学び続けられる生きがい溢れるまちづくり迄、町長は平成29年12月7日の定例会初日において、今後4年間は多可町の将来を決する非常に重要な時期です、子や孫の世代に、「住みたい町、住んでよかった」と言われる多可町にする、健全な財政基盤の確立に取り組むと表明されました。更には「変革そして未来への約束」を町政の基本として、合併特例債事業の総仕上げ、スリムで効率的な行財政システムへの変革、職員の能力、資質の向上、お年寄り、子供、人権を大切にするまち、地域産業の育成と雇用の確保、子育てするなら多可町と言われるまちの6つの政策を掲げられ1期目4年が経過しました。そして今、2期目への想いを力強く所信表明をされました。すべてに亘り質問することは避け、町政の基本であり又過疎要件でもあります「人口・財源の確保」に関連した項目について以下伺います。

・「地域産業の育成と積極的企業誘致」の具体について

①若者等の働く場の創生 工業団地等の確保策

②企業と自治体 マッチングをどう図るのか横並びでない戦略は

③企業及び起業しやすい環境&受け皿 (Wi-Fi、5G) ベースの情報環境作りは どのように考えられているのか

現在進行中の中区高岸地内田井鉄工以外に工業誘致

② 「データを盗んで暗号化した。復元して欲しければ連絡しろ。

金を払わなければデータを公開する」。

本年10月末、徳島県つるぎ町にある町立半田病院のプリンターから出てきた不審なメッセージ。システム管理者が調べたところ、サーバーが「ランサムウェア」と呼ばれる身代金要求型ウイルスに感染し、約8万5000人分の電子カルテが閲覧不能となった又、医療関係や会計システムがダウンし患者さんの情報が無い中、医師・職員たちは今もなお、手作業で治療や診察、運営にあたり、新規の患者受け入れを停止する事態に陥っています。まさかこんな田舎のこの町がです。 ハッカーは何時襲ってくるかもしれ

ません。

以下伺います。

- 1) 悪意のハッカー等からの防止策は如何に。本庁、地域局、出張所等の備えは。
- 2) 直営診療所等の IP 技術者不在場所の対応策は。
- 3) 対応策等マニュアル等の作成配備は如何に。

③ 「空き家」をより適正に管理し、地域資源として更なる活用を
少子高齢化、若年層等の都市への流出又、世帯構成の変化等により空家が
増加しています。十分に利用できるにもかかわらず流通していない物件、
更には放置等により管理不十分な物件も約 600 戸に上り、今後更に進む恐
れがあります。

ポストコロナ働き方の多様化や地方回帰の流れを捉え、これらの空家を
移住定住及びワーケーションや二地域居住による交流の促進の受け皿とし
て有効活用していくことも大変重要です。 以下伺います。

- ① 空き家の最新の状況は(総件数、良質物件、特定物件、それ以外等)
- ② 腐朽、損傷がない空き家（良好な地域資源）の利用方法等は如何に
- ③ 特定空き家に相当する物件（撤去解体等その方法がわからない）への
対応方法は如何に

一般質問通告書

【第109回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 門脇保文

受 領 日	番号
令和 3年12月10日	9
午前・午後 8時30分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 町長所信表明について	町長
<p>第1に「子育てするならダントツ多可町」の実現 先進自治体程度であると思いますが、どのような優れたダントツ政策を実現されるのか。</p> <p>第2に、より一層のサービスの向上 国は「デジタル田園都市国家構想」を看板施策に掲げ、地方デジタル実装に向けた政策を総動員するとしています。行政のオンラインシステムも必要でしょうが、行政サービスのあらゆる部門でもデジタル化による影響は免れません。現在進行中の「生涯学習センター」の整備事業に於いても現状の内容では大きな影を落とすのではないのでしょうか？また、経済・社会・環境の三側面に於いて新しい価値を創設し、持続可能な発展を実現するとあるが、現在進行中の新ごみ処理施設についてもSDGsの理念の政策なののでしょうか？</p> <p>第3に、地域産業の育成と積極的企業の誘致 自然災害が少なく、かつ、神戸や大阪から90分もあれば行きでき比較的交通の便に恵まれている多可町は、都市部と比較して、まとまった土地を安価で利活用でき、企業誘致には適した場所であります。解り易い道路網整備や企業誘致に対してどこを拠点に検討されておられるのか？</p>	
2.	
3.	

質 問 の 内 容

町長の所信表明について

町長の所信表明を聞き、感銘しました。私が選挙公約を掲げた内容と非常によく似ておりますので驚いております。また、期待もしております。ただ、具体的にどのような事をされようとしているのかが良く見えませんし、矛盾を感じる箇所も多々あります。以下3点についてお伺いしたいと思います。

第1に「子育てするならダントツ多可町」の実現

町長の所信表明で「これまでの4年間、子育て世代に選ばれる町を目指し、多様な子育てスタイルに対応できるよう、様々な事業を展開してきました。保育料をはじめ、所得にかかわらず高校生までの福祉医療費の無償化、更には、ご家庭での乳幼児を養育する保護者に、多可町独自で在宅等育児手当制度を設けるなど、一つ一つの事業は、子育て先進自治体と見劣りするものでは決してありません。よって2期目は多可町が取り組んでいるきめ細やかな制度や事業が、実際の運用の中で利用者にとって最善なのかを点検しながら、質の向上に向けて取り組んでいくとともに、必要な家庭にベストなタイミングで活用いただけるよう、情報発信に力を入れていきたいと思っています。」とありますが、どこが優れたダントツ政策なのか、また具体的にどのようにして子育て世代のサポートを実現されるのか。

第2に、より一層のサービスの向上

国は『今年9月にデジタル庁が誕生し、更に、先月発足した第2次岸田内閣は、地方にデジタル技術を普及させ、都市部との格差や距離を縮めて活性化を目指す「デジタル田園都市国家構想」を看板施策に掲げ、地方デジタル実装に向けた政策を総動員するとしています。すでに、多可町におきましても、行政手続きのオンライン化で「待たせない」「書かせない」窓口を目指し、住民の皆さんの利便性向上に向けて取り組んでおります。併せて、職員の業務効率化、働き方改革も進めて行きます。

また、新ごみ処理施設については、引き続き西脇市との連携のもと、周辺環境の整備も併せて取り組んでまいります。

更に、地域のあらゆる主体が連携して、誰一人取り残すことなく多様性と包摂性ほうせつせいのある社会を実現するSDGsの理念を各施設にしっかり取り入れ、経済・社会・環境の三側面において新しい価値を創設し、持続可能な

発展を実現する「未来都市」を目指します』。とありますが、

オンラインシステムも必要でしょうが、行政サービスのあらゆる部門でもデジタル化による影響は免れません、現在進行中の「生涯学習センター」の整備事業に於いてもオンライン化により家庭や各地域局等で事を達することが出来る時代に入りました。大きな図書館や文化施設よりも現在のある身近な各地域局のオンライン化の充実に取り組むべきであると思います。再配置計画の施設に対しても見直す価値が出てきたのではないのでしょうか。時代の分岐点である現在、過去の大きな集合体よりも、身近にある施設の充実の方が、利便性が高いのではないのでしょうか。「生涯学習センター」のあり方や現状の計画内容では将来大きな影を落とすのではないのでしょうか？また、経済・社会・環境の三側面に於いて新しい価値を創設し、持続可能な発展を実現するとあるが、現在進行中の新ごみ処理施設については、30年後、1市1町でのごみ処理施設（当初は51億でしたが110億円かけて）建設しても後は廃墟になるだけです。今回は許可されましたが、30年後は人口減により1日の焼却量の減少により国の方針で許可されません。この施設が持続可能なSDGsの理念の政策なのではないのでしょうか？

第3に、地域産業の育成と積極的企業の誘致

「また、自然災害が少なく、かつ、神戸や大阪から90分もあれば行きでき比較的交通の便に恵まれている多可町は、都市部と比較して、まとまった土地を安価で利活用でき、企業誘致には適した場所であります・・・」とありますが、現在、多可町に来るのに非常に分かりにくい道路網であり多可町に拠点を移す企業に対して解り易い道路網整備、高速道路へのアクセス道を含め道路整備計画を検討されておられるのか。

また、企業誘致に対して多可町のどこを拠点に検討されておられるのか？

一般質問通告書

【第 109 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 市位 裕文

受 領 日	番号
令和 3 年 1 2 月 1 0 日	10
午前 午後 8 時 5 5 分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 中学生の通学路対策	教育長
<p>先日中学生の保護者から連絡が入り、夕方の通学路が真っ暗で怖いとの連絡が入り、現地確認に行きビックリしました。</p> <p>川のそばの農道を調べると町道とお聞きしましたが、本当に真っ暗でしかも県道から離れて人の目にも止まらない道でした。道幅も狭く、確かに車の往来はありませんが大変危険です。</p> <p>しかも指定された通学路は、離れた県道でした。指定の通学路以外の道が通学路になっていました。</p> <p>指定の通学路の変更と防犯灯設置、街路灯の設置の2点を要望します。</p> <p>それと他にもこんな個所がないかの点検です。 樹木の生長に伴い、街路灯が隠れてしまって通学路が暗くなっていたりです。</p> <p>事件や不慮の事故があってからでは取り返しがつきません。通学路の再点検と本当に適正な通学路が確保できているかの確認をしてください。</p> <p>少子化で中学生の数も減り、1人での帰宅も増えています。子どもの安全な通学路確保をおしすすめてください。</p>	
2. 中学生の制服	教育長
<p>中学生の制服が今でも学生服ですが、播州織を利用したシャツや制服に変更を提案します。</p> <p>先日、地域の学校教育のあり方を考える会からの答申の中にも 107 ページに「男女平等の制服」「女子もズボン OK にして」がありました。</p> <p>また姫路市立山陽中学生の制服が、男女ともにスラックスを標準制服化、希望者はスカートの着用も可能とありました。</p> <p>教室にエアコン設置もあり、男女共通のブレザーとスラックスを着用することにより一体感もでき、スカートによるひざの寒さ対策もろもろと謳ってありました。</p> <p>播州織の振興策、宣伝効果にもなるし、是非とも実現させてください。</p> <p>ブレザーにすることへの負担増があるとすれば、支援をして積極的進めるべきと思いますが答弁を求めます。</p>	

一般質問通告書

【第109回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 足立 吉継

受 領 日	番 号
令和 3年12月10日 午前 午後 9時45分	11

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 高校生通学路の街路灯の設置を	町長、教育長
子育てをされている住民の方から、加美区寺内のJAみのり加美支店前からの場的町営住宅にかけての歩道周辺に街路灯がなく、高校生の子たちがバスから降りて帰ってくるのに防犯上危険であるとお話をお聞きしました。私も夜、その周辺を実際見てきましたが、大変暗くこれは街路灯が必要だと感じました。多可町街路灯・防犯灯設置要綱（設置）第2条の第2種事業の町道に該当する箇所であり、設置を求めます。	
2. 結婚応援事業の現状について	町長
少子化対策、人口減少対策としての結婚応援事業に期待する声が住民の方から上がっております。今後どう取り組んでいかれるのか、具体的にお答えください。	
3.	

一般質問通告書

【第109回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様 多可町議会議員 吉田 政義	受 領 日	番号
	令和 3年12月10日 午前 午後 9時57分	12
質問の項目及び要旨		答弁を求める者
1. 通学路の安全は守られているのか		教 育 長
<p>私は、毎日杉原川右岸或いは左岸を通り、安楽田橋までウォーキングをしております。時間はまちまちです。そんな時、ここで急に体調を崩したり、何かあったらどうするんだろうと考えます。</p> <p>そんな中、中町中学校の自転車で帰宅する生徒と出会います。自転車で高岸の防災センターを通り、高東橋で杉原川の右岸を通る生徒と、橋を渡り左岸を通る生徒がいます。そして、高田橋まで来ると、そのまま左岸を通り、ライスセンターと育苗センターの間を右折し帰っていきます。右岸には民家がありますが、まだ竹藪もあります。左岸は、現在工事中の太陽光発電設備があり、竹藪も残っております。11月中旬頃から現在にかけて4時半すぎから5時半にかけて暗くなりかけます。秋の日は釣瓶落としのごとく、日が沈むのが早いです。人通りは非常に少なく、昼間でも心配な場所です。薄暗くなるとなおさらです。そしてその道が長いです。暗い中を自転車で帰って行く生徒と出会います。私はライトを点けていますが、それでもドキッとします。暗くなって歩いている人は少ないですが、どこかに潜むことも考えられます。</p> <p>12月7日にも5時25分頃、薄暗くなった中で出会いました。「こんばんは 気をつけて帰りよ」と声をかけました。何が起こっても不思議ではないと思います。高校生はライスセンターからそのまま川沿いに行く生徒もおります。釣瓶落としの今の時期だけかもしれませんが、私自身は常に怖いなと思っております。</p> <p>安全は守られていますか。</p> <p>帰宅コースはどの様になっておりますか。</p> <p>コースを変える必要があるのではありませんか。</p>		

一般質問通告書

【第109回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 日原 茂樹

受 領 日	番号
令和 3年12月10日	13
午前・午後11時5分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. ウッドショックの今こそ、町産材の活用を	町長
別紙詳細	
2. 厳しさを教える教育	教育長
別紙詳細	
3.	

質 問 の 内 容

ウッドショックの今こそ、町産材の活用を！

コロナ禍でテレワークが増えたことをきっかけに、米国では郊外に新しく住宅を購入したり、リフォームやDIYを盛んに始めたりする動きが見られ、木材の需要が増加しています。また、中国でも経済の回復などに伴い木材需要が増加している上、コンテナの不足といった物流の事情によりウッドショックと呼ばれる外国産木材の高騰が発生しています。

日本へ輸入される木材が不足し、住宅の建築に使用する輸入材がひっ迫しています。このため、今年の3月頃から住宅関係事業者の一部が国産材への切り換えを行っています。この影響で、柱などの製材品の需要が高まり、価格が上昇しています。

木材・木製品・林産物全体の輸入価格は、2021年9月には、前年末比で69%上昇しています。加工前の丸太は、前年末比23%の上昇となっています。また、合板と集成材は、前年末比でそれぞれ49%と149%の大幅な上昇となっています。

さらに、製材の輸入価格は、前年末比2.37倍の水準となり、価格高騰も非常に大きいものとなっていることから、今後その影響が本格化してくることが懸念されます。

そのような中、工務店を営む知人から残念ながら木材が入手できず、住宅建設をストップせざるを得ない事例が発生していると聞きました。発注者はマイホームの完成を見越して様々な計画を立てる中、思いもよらない影響や負担が生じてしまっています。

この状況がどれくらい続くかは、まだ見通せない状況にあります。しかし、この機会をチャンスととらえ将来に向けて中長期的に国産材へシフトしていく供給体制を目指し、町産材の供給量、更に増加していくための体制づくりを着実に進めていくべきではないかと考えます。

多可町では、これまで町内産木材の活用を促進してきました。しかし、木材の供給量を増やす上で、森林所有者や林業従事者の高齢化、担い手の減少に加え、切り出した木材を加工する製材所の廃業など、材木の安定供給体制に大きな課題があります。

多可町では森林・林業の将来像や林業が目指すべき姿を示し、総合的・計画的に施策を展開していく必要があるため森林・林業ビジョンを策定しています。森林の健全化とあわせて雇用の拡大や地域の活性化を図り、活気ある町を創っていくためのビジョンですが、これで十分でしょうか。

吉田町長は12月7日の所信表明の中で林業の持続性を高めるためにも、多可町の豊かな森林を活用した健康ウォーキング事業を推進していくためにも、このピンチをチャンスに変えるべく展開を図っていく、森林環境譲与税を活用した積極的な投資で地域活性化に繋げていくと述べられていますが詳細な具体例は示されていません。

今後どのような施策でウッドショックによるピンチをチャンスに変え、林業の再生、発展に取り組まれるのか、町長の所見を伺います。

厳しさを教える教育

我々世代が子どもの頃は、漫画「巨人の星」に代表されるように、スポーツ根性もののアニメなどが放映され、中学生の時は部活に入って毎日厳しい練習をしており、何度も練習を休みたいと思いつつも、勝利の喜びを味わうためには日々の厳しい練習をこなさなければならないという意識は、子どもの頃から持っていたと思います。

学校でも、怖いけれども、子ども達と一緒に体動かしていた熱血漢の先生もいて、体罰禁止規定は昔からあったものの、時には鉄拳制裁を食らうことも正直ありました。

楽しい学校生活や部活の中にも、常に目標を達成するには厳しさを乗り越えていこうという風潮があり、そうした厳しさと向き合ってきたことで社会人として様々な困難にぶつかっても、何とか乗り越えていく力を身に付けてきたものだと思っています。

スポ根と呼ばれるスポーツ根性ものの漫画は、1980年代以降になると衰退し、徐々に努力や根性といった価値観は恰好の悪いもの、ダサいものとして見放されるようになり、そして、現在では厳しさを教えることは平均的な教育の中では余り見られなくなっていると感じています。

褒めて育てる、叱らない子育てといった標語をよく耳にするようになりました。子育てのポイントは、叱る代わりに褒めること、大人だって褒められればうれしいので、気分が良くなり、もっともっと認めてほしくなって、更に頑張るとの理屈です。

最近では遊んだおもちゃの片付けをすれば、うんと褒めてあげて、たとえやらなくても決して叱ってはいけない。できなかったことのペナルティなど必要ないと、教育評論家は主張しておられます。

その結果どうなったのか。失敗を恐れてチャレンジできない若者や内向きの若者、緩く生きるのになじみ過ぎて頑張れない若者、教師や上司の注意や叱責

に対して、すぐに反発をする若者、ちょっとしたことでひどく落ち込む若者、傷つきやすく鍛えることが難しい若者が明らかに増加しているとの指摘もあります。

今の先生方は優しくて授業内容もほほえましく、まず子ども達を叱ることはありません。現在は普通の学校生活を送っていると、ほとんど厳しく叱られることはなく、ルールを守らなくとも、場合によっては悪いことをしたと素直に認めれば褒めてもらえる世界が待っています。

体罰は、学校教育法第 11 条で禁止されていますし、誰も肯定することはできませんが、褒められてばかりでほとんど叱られず、厳しい指導を受けることのない世界で育ち続けた後に、今の若者たちが大人の厳しい世界に放り出されるのは、ある意味、不幸ではないかと思えます。

そこで、困難を乗り越える力を付けるために、厳しさを教える教育について、その必要性や今の社会においてどのようなやり方が望ましいと考えられているのか、教育長の所見を伺います。